



足立入谷小だより

令和元年9月2日
足立区立足立入谷小学校
校長 添野 誠

I need You !

副校長 江幡 隆志

夏休みも終わり、学校に子供たちの笑い声が戻ってきました。でも、近頃の私たち学校関係者は耳をそばだててしまいます。「本当に、全員の子たちの笑い声かな？」「登校していない子は？」「元気のない子は？」

昔は夏休み明けに日焼け比べをしたり、お出かけ自慢をしたり、とにかく久しぶりにクラスメイトに会うのが楽しみで、憂鬱なのは終わっていない宿題くらいだったように思います。家の中での兄弟げんかにも、ここぞとばかりに頼まれる家の手伝いにも飽きて、気楽に友達と過ごす時間に飢えて来たところに夏休みが終わっていたのです。

この時代には、よく大人たちが「世の中に必要とされる人間になれ。」などとよく口にして、私たちの勉強や生活ぶりにたくさんのケチをつけて来ました。うんざりでした。「世の中のためになんて冗談じゃないよ。自分自身のために生きるんだ。」「大人の都合に合わせてたまるか・・・。」なんてある少年は思っていたとかいないとか・・・。

しかし、このごろ思うのです。「人に必要とされるって生きる力になるなあ〜」などと。昔は耳にしなかった自己肯定感なんて言葉も、よく聞き、よく使うようになりました。自分がいることや、自分と過ごすことを喜んでくれる人がいるのは何ともうれしいものです。自分がいることが、どれほど世の中に役に立っているかどうかわかりません。大したことはないでしょう。小・中学生はなおのこと、役に立っているなんて思いようがないと思います。でも、「あいつがいると楽しいよな。」「あの子って、あーいうの上手だよな。」「あの子といると、ホッとするよな。」「〇×のことはあいつくわしいよな。」なんて言葉は、意外に沁みるんですよ。世の中には必要とまではいかないけれど、誰かのちょっとに必要な感じ……。こういうの悪くないですよ。きっと、そんな言葉が私たちをあと押ししてくれて大人になるのではないのでしょうか。「もうすこし頑張ってみようかな？」「自分にもこんなことができるようになるかな？」そんな思いの原動力なのだと思うのです。

I need you. 「あんたがいなくてなんか家が暗い気がする。」「お前っておもしろいよな。」家族の中で友達どうして、お互いにそんな言葉を掛け合って、自分も他人ももっと好きになれるといいなと思います。

9月の主な行事予定

日	曜	行 事	スマ	16	月	敬老の日	
1	日			17	火	全校朝会 スパシヤルマンデー美術館見学(5)	○
2	月	B 全校朝会 委員会	×	18	水	B4	○
3	火	OP 生活リズムチェック (~6日)	×	19	木	児童集会 仲よし班活動	○
4	水	B クラブ	×	20	金	避難訓練 車いす体験(3)	○
5	木	児童集会 水泳記録会(5・6) 大根種まき(12)	○	21	土		
6	金	水泳指導終	×	22	日	秋分の日 PTA ソフトボール大会	
7	土	土曜授業 親子で楽しもうデー(12:00~)	×	23	月	振替休日	
8	日			24	火	漢字計算検定	×
9	月	全校朝会 身体計測(123) 連運朝練始 安全指導	○	25	水	B 委員会	○
10	火	身体計測(456) 学校で朝ごはん(5) OP	○	26	木	B 連運激励集会 連合運動会	×
11	水	B4 研究授業(6)	○	27	金	OP 親子授業(5)	○
12	木	音楽朝会 ごみゼロ運動(12) 敬老カード贈呈(123)	○	28	土		
13	金	社会科見学(3) いりや第一保育園交流給食(1)	○	29	日		
14	土			30	月	B 保護者会(低 14:05 高 15:00)	×
15	日						

※()の中の数字や文字は対象学年を示します。×はスマイル未開催日 Sはスクールカウンセラー配置日 OPはオリビエックタム実施日

夏学習のがんばり

図書担当 藤森亜季子

今年も猛暑の夏休みとなりましたが、夏休み前半の7月22日～8月2日の10日間、午前中はサマースクールやあだち学習教室、午後は自主学習教室と子供たちはとてもよく頑張っていました。中には、「家に帰ると勉強しないから、学校でもっとやっていきたい。」と言う子や、「もう夏休みの学習プリントが全部終わってしまったので、新しいプリントをください。」と言う子もいて、意欲的に取り組む子供たちの姿が印象的でした。

また、夏休みは図書室の本を4冊まで借りられることになっていましたが、夏休み前半で読み終わった児童もあり、サマースクール・水泳指導後の借り直しタイムには毎日児童が図書室を訪れ、「どの本がいいかな。」「読書感想文にお薦めの本はどれですか?」と熱心に本を選んでいきました。

この夏休みで学習も読書も頑張った子供たち。苦手だったことができるようになって自信がついたり、読書を通して新たな発見をして世界が広がったり、どのお子さんもきっと大きく成長しています。そんな成長した場面を発見したら、ぜひその頑張りや成長を言葉にして認めてあげてほしいと思います。褒めてもらえた、認めてもらえた経験が子供たちの心の栄養素となり、さらに成長してくれることと思います。 ※藤森教諭は8月25日より産休に入りました。



夏季水泳教室

2年担任 小元 彩華

今年の夏季水泳教室は、雨や暑さにより中止になることが多く、全部で8回の実施となりました。なんとか実施が決まった日は、嬉しそうに水着に着替え、張り切って泳ぐ子どもたちの姿が見られました。授業の時とは違って、

1～3年生、4～6年生に分かれて行いました。初めての夏季水泳教室を体験した1年生は、2、3年生につづき、水を恐れず楽しく潜ったり浮いたりすることができました。また、どの子も2回目の検定に向け、毎時間一生懸命練習しました。検定本番では、「頑張れー!」「あと少し!」など、友達を応援する声も飛び交い、最後まで諦めずに泳いでいました。特に、夏休みの水泳教室が今年で最後となる6年生は、検定に向けた思いも強く、力強い泳ぎを見せてくれました。



保護者の皆様には、子供たちの送り出しや健康管理の面でご協力いただき、誠にありがとうございました。夏季水泳教室で身に付けた力を生かしながら、残りわずかとなった水泳学習に取り組んでいってほしいと思います。

お子さんの心とからだにご注意!

保健担当 大森 真有

楽しい夏休みも明け、いよいよ学校がスタートしました。久しぶりに見る子どもたちの笑顔や、楽しかった夏の思い出話から、私も元気をもらうことができました。しかし、中にはまだ夏休みの生活が抜けず、ぼうつとして、眠たげなお子さんもいたように思います。早寝早起き朝ごはんを心がけ、学校で元気に過ごすことができるようご家庭でも指導していただきますようご協力お願いいたします。

長期休業明けは、生活がガラッと変わってしまい、気持ちがまだまだついていけないお子さんもいます。体調不良やけがの訴えが増えたり、遅刻・欠席が増えたり、成績が急に下がったりなど、普段と様子が違ったところありませんか。それは心が疲れているサインかもしれません。最近の調子や、学校での様子を聞き、辛いことがあったのなら、その辛い気持ちを認め、心に寄り添うことが大切です。学校でも子どもたちの様子には十分注意して参りますが、ご家庭でも気が付いたことや心配なことがございましたらご相談ください。



9月7日(土)は「親子で楽しもうデー」です。皆様のご来校をお待ちしています。バザー出品も受付中です。